

第4学年 国語科学習指導案

日時 令和5年10月6日(金) 6校時

児童 4学年 23名

授業者 佐藤 泰子

1 単元名 中心となる語や文を見つけて要約し、伝統工芸のよさを伝えよう

2 学習材名 『世界にほこる和紙』(光村4年下)
『じょうほう 百科事典での調べ方』
『伝統工芸のよさを伝えよう』

3 単元について

児童は、3年生で『言葉で遊ぼう/こまを楽しむ』や『すがたをかえる大豆』などの説明文で「段落」というまとまりを意識することや、「初め・中・終わり」に気をつけて読むことなどを学習してきている。また、4年生の『アップとルーズで伝える』では、筆者の考えとそれを支える具体的な例との関係に気をつけながら、段落どうしの関係を読み取ってきた。それを踏まえ、本単元では、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて説明文を要約する。

本単元は、『世界にほこる和紙』を読んで、筆者の説明のしかたを捉えたり要約したりし、百科事典などを活用して、伝統工芸について調べたことを書く活動を行うという、複合単元である。『世界にほこる和紙』は、構成が捉えやすく、考えと理由の関係を捉えたり、中心となる語や文を見つけたりする学習に適している。要約の学習は『アップとルーズで伝える』の説明文の学習で既習だが、本単元では更に力の定着を図りたい。

本単元に関わる指導事項は、読むこと「ウ目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。」である。調べて分かったことなどをまとめて書く言語活動を設定し、自分の感じる「よさ」や「みりよく」を読み手に伝えるためには具体例を示し、そう判断する理由を述べなければならない。そのために「世界にほこる和紙」で説明のしかたを捉えながら読んだり、文章を要約したりする必要性が生まれ、単元を通して目的をもって学習に取り組むことができると考える。

指導にあたっては以下の2点に留意する。

手立て1に関わって

- ・単元のゴールであるリーフレット作りのためにどのような力が必要なのかを確かめながら学習を進めていく。
- ・「友達の意見を聞いて自分の考えに生かしたこと」や「要約するための工夫」など、振り返りの視点を示し、学びの広まりを感じることができる振り返りをする。

手立て2に関わって

- ・児童にとって目的のある対話的活動となるよう、要約文を50字程度にまとめるために中心となる語や文を見つけるなど必然性のあるグループでの対話的活動を位置付けていく。
- ・「○○さんの言葉の続きは言えるかな。」など、児童の考えを照らし合わせたり関連付けたりする発問をする。

4 単元の目標

- 事典の使い方を理解し使うことができる。〔知〕(2)イ
- 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。〔知〕(3)オ
- 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。〔思〕B(1)ウ
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。〔思〕C(1)ウ
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 事典の使い方を理解している。 (2)イ ② 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。 (3)オ	① 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き方を工夫している。B(1)ウ ② 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。C(1)ウ	① 進んで中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをリーフレットにまとめて書こうとしている。

6 単元の指導計画（全16時間扱い）

時	学習活動	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点	評価【 】〔方法〕
1 2	○伝統工芸について関心をもつ。 ○単元の学習のめあてを確認し、学習計画を立てる。	・児童の既有知識を掘り起こすために、社会科の既習事項やリーフレットの実物を提示する。 ◆リーフレットを作るために説明の仕方を捉えたり、文章を要約したりする必要性を感じるように、要約したものとしていないものを提示する。（手立て1）	
伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作ろう。			
3	○『世界にほこる和紙』を読み、おおまかな内容を捉え、組み立てを確かめる。	・文章全体を「初め」「中1」「中2」「終わり」に分けることができるように、既習の説明文の組み立てを示す。	【知①】百科事典の使い方を理解して使い、興味のある伝統工芸について調べているか確認する。 〔観察〕
4	○「初め」の要点をまとめる。	・中心となる語や文を使ってまとめることができるように、それらにサイドラインを引きながら読み取っていくことを確認する。	【思②】文章を読んで内容と構成を捉えたうえで、まとまりごとに中心となる語や文を考えながら要約しているか確認する。〔記述〕
5 本時	○「中1」「中2」の要点をまとめる。	・和紙が世界に誇るものだと実感することができるように、挙げられている例を確認する。 ◆中心となる語や文を精選するために要約文の文字数を50程度にする。（手だて2）	
6	○「おわり」の要点をまとめ、『世界にほこる和紙』を要約する。	・要約するために中心となる語や文を精選することができるように、掲示を工夫する。	
7	○『世界にほこる和紙』の要約を読み合う。 ○『百科事典での調べ方』を読み、百科事典の使い方を知る。	・言葉の選び方やまとめ方で「いいな。」と思ったところを伝え合うことができるように、ワークシートを用意する。	
8	○リーフレットを作ることに意欲をもち、題材を選ぶ。	・「学習の進め方」の流れを確認し、写真や絵を使って作ることを確認する。	【知②】読書が、必要な知識や情報を得るために役立つことに気づき、進んで読書しているか確認する。〔観察・発言〕
9 10	○伝統工芸品について調べ、必要な情報を整理する。	・調べたことはカードに書かせ、整理しやすくする。 ・いくつかの資料を読んで情報を集めることを伝える。	【思①】調べたことを基に、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫してリーフレットを作っているか確認する。〔記述〕
11 12	○文章の組み立てと資料の使い方について考える。	・400字を目安に、理由や例と、伝えたいことの間わりが分かるように書くことを確認する。	
13	○「初め」「中」「終わり」を考え、下書きをする。	・主語と述語を対応させたり、つなぎ言葉を使ったりすることを押さえる。 ◆リーフレットがよりよいものになるように、友達とアドバイスをしあいながらまとめていくことを確認する。（手立て2）	【主①】進んで中心となる語や文を見つけ要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって調べて分かったことなどをリーフレットにまとめて書こうとしているか確認する。〔観察・記述〕
14 15	○レイアウトを工夫して、リーフレットを完成させる。	・絵や写真の入る場所などを工夫して仕上げられるように、例を提示する。	
16	○友達とリーフレットを読み合い、感想を交流する。	・工夫を見つけ、分かりやすい書き方を互いに伝え合うようにする。 ◆単元を通してつけた力をふりかえることができるように、学習シートを工夫する。（手立て1）	

7 本時の指導

(1) 目標

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。

(2) 本時の評価と具体の評価規準

目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。

具体的な子どもの姿	Bに至らせるための支援
・「風合いが美しい」や「気持ちを表す」などの中心となる語や文を見つけて文章にまとめている。	・中心となる文や言葉に線を引かせ、その中からいくつか選んで文章にまとめるようにさせる。

(3) 展開

	学習活動 ・児童の反応 ＜目的：＞児童と共有する対話的活動の目的	◆研究に係わる手立て ・指導上の留意点【評価】〔評価方法〕
導入 5分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。	・リーフレットを作るために要約する力を付ける必要があることを確認し、児童が学習のゴールを意識しながら学習を進めていく。 ・題名に注目させ、本時の学習課題へとつなげる。
展開 35分	3 「中1」に書かれている和紙のよさについて考える。 ・とても長いせんいでできているので、やぶれにくい。 ・おだやかなかんきょうで作られているので、長持ちする。 4 「中2」に書かれている和紙を使ってほしい理由を考え、交流しながらまとめていく。 ＜目的：比較・広げる＞ ・風合いが美しく、自分の気持ちを表す方法の一つとして、和紙を選んで使ってきた。 ・受け取る相手や気持ちに合わせて、和紙を選ぶ。 ・相手との出会いを大切にしている気持ちを和紙で表す。	・和紙が世界に誇ることができるものだと実感できるように、和紙の良さを説明するためにどんな例を挙げているかを確認する。 ◆対話的活動で中心となる文や語を精選していくために、要約文の文字数を50文字程度にする。(グループ) (手だて2) ・友達の考えを聞き、自分の考えを見直す。 ・理由をつけて自分の考えを話すことを確認する。
終末 5分	5 学習の振り返りをし、次時への見通しを立てる。	◆「友達の意見を聞いて自分の考えに生かしたこと」や「要約するための工夫」など、振り返りの視点を与え、学びの広まりを感じられるようにする。(手立て1)

筆者はなぜ和紙が世界にほこるといっているのか考えよう。

【思】リーフレットを作るという目的を意識して、中心となる「風合いが美しい」や「気持ちを表す」などの語や文を見つけて要約している。〔発言・記述〕

〔期待する振り返りの例〕

- ・友達の話を聞いて、要約に入れる言葉や文を決めることができた。
- ・話し合いをしたら、自分と違うけどなるほどなと思った。
- ・決められた文字数におさめるために大事な言葉を残せばいいと分かった。

(4) 板書計画

世界にほこる和紙

課題

筆者はなぜ和紙が世界にほこると言っているのか考えよう。

世界にほこる その一

長いせいでできている和紙はやぶれにくく、おだやかなかんきょうで作られている和紙は長持ちする。

・ 正倉院

・ 世界の博物館や美術館

世界にほこる その二

和紙の風合いを美しいと感じ、めいしやお年玉など自分の気持ちを表す方法の一つになる。

・ 短歌

・ めいし

・ お年玉のふくろ

ふり返り

友達の意見を聞いて自分の考えに生かしたこと
要約するための工夫